

## 県内自治体で初めての受賞

厚生労働省の第五回上手な医療のかかり方アワードにおいて、神栖市の取り組みが、上手な医療のかかり方における総合的な制度設計が優秀な取り組みとして「厚生労働省医政局長賞」を受賞しました。

受賞した取り組みは、医療を受ける側と提供する側が双方のやりとりを通じて、共に考え、全員参加のもとに行動する「みんなが創る！みんなで守る！かみすの医療プロジェクト」です。冊子や広報紙による情報提供、市民の声を掘り下げる懇談会や企業も参加した連絡調整会議などの双方向での直接・間接の話し合い、さらには提案などを踏まえた医療教育や企業も参加する症例検討会などの発展的な取り組みが評価されました。

今後とも当プロジェクトの推進に努めてまいりますので、市民の皆さんの引き続いてのご参加とご協力をお願いします。

## 市長が厚生労働省を訪問



左から 坪口石田 創太 医療政策企画官 神栖市長

はじめに、石田市長から「市民や企業の賛同をいただきながら、全員参加で挑戦している取り組みが、皆さんに評価いただき、大変心強く感じしております。受賞を励みとして、関係者の絆をより一層深めて、チャレンジを続けたい」と感謝と抱負を伝えました。

アワードの審査委員を務めた坪口医療政策企画官、担当の総務課片岡課長補佐からは、幅広い方々の参画を得て、取り組みを複数年度にわたり地道に継続・発展させてきており、有識者の皆さんからも、「素晴らしい取り組み」と評価された旨の説明がありました。さらに、「良い形で続けていっていただき、全国のモデルになってほしい」とのエールをいただきました。

懇談では、当市の施策の目標や課題などを話題としつつ、今後は、介護との連携の上でも市町村の医療政策上の役割が高まるとの国の認識や、地域医療構想の再検討がスタートしたこと、基金の活用方法が論点となっていることなどの情報提供がありました。

## みんなが創る！みんなで守る！かみすの医療プロジェクト

